



あけましておめでとうございます。今年もよろしくお祈りします。

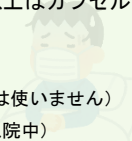


インフルエンザシーズンの発熱について

インフルエンザを強く疑ったら

1. 抗インフルエンザ薬を使用します（使用しない選択もあります）

- ・タミフル（ドライシロップ、カプセル）体重37.5Kg以上はカプセル
- ・リレンザ } 吸入薬
- ・イナビル }
- ・ゾフルーザ（耐性ウイルス出現を考慮し、第1選択薬には使いません）
- ・ラピアクタ静注点滴用（薬が飲めないほど状態が悪い、入院中）



2. 漢方薬を使う

◎漢方薬の長所は「この発熱がインフルエンザであろうが、カゼによる発熱であろうが、コロナであろうが関係なく使える」点です。

- 大青竜湯 [高熱、発熱（-）→麻黄湯+越婢加朮湯
高熱、発熱（±）→桔梗湯+麻杏甘石湯

これらを2時間おきに3-4回飲みます（最高6回まで）。

①解熱傾向あり、②発汗した、③排尿があった、のどれか1つを認めたら内服中止です。

※抗インフルエンザ薬との併用は可能です。

※大青竜湯を飲んで一旦解熱した後、再び発熱を認めたときは柴胡桂枝湯を1日2回-3回で数日間飲みます。

新型コロナウイルスは健康な成人、小児がかかっても、無症状あるいは軽症がほとんどです。

発熱、咳嗽が激しいなど肺炎を疑う状況であれば、胸部CT検査が必要です。

胸部レントゲン写真でも肺スリガラス陰影は分かります。

こうなればPCR検査をして入院で加療となります。

こうなるケースは全体の20%程度です（TVではこういう症例をクローズアップして流しています）。



コメント

新型コロナに関する情報を自分なりに理解して冷静に行動することが大切です。

「本当は怖くない新型コロナウイルス」（井上正康／大阪市大 名誉教授）

1. 新型コロナは感染力が少し強い季節性の風邪ウイルスである。
2. 感染症対策は、手洗い、うがい、鼻洗浄、トイレの清掃・消毒で十分である。
3. PCR検査の過剰評価をやめて、CT検査を活用した方が効率的で効果的である。
4. ワクチンには副作用や後遺症のリスクが伴う。安易に期待すべきではない。
5. クラスタ解析は新型コロナには効かない。このウイルスはすでに私たちの身辺に広く深く拡散・浸透している。
6. 2類の指定感染症である必要はもはやない。一刻も早く解除すべき。
7. 私たちを本当に苦しめているのはウイルスではなく、「メディアのインフォデミックと恐怖症」だ。
8. 事実にもとづいた冷静な判断で、日常を取り戻そう。

お知らせ

岐阜市の漢方外来予定日 1月16日（土）、30日（土）

時間：14:00-17:30 場所：中島小児科（岐阜市錦屋東町2-1） ※すべて「院外処方」です。

小児夜間急病センター当番日 1月8日（金）

19:30-22:30（受付） 場所：岐阜市民病院にて

休診のお知らせ 1月27日（水）

都合により休診します。よろしくお祈りします。